

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和4年	会計コード	10	一般	事業コード	20759	
事業名	歩道除雪費						
評価担当課	所属名	建)土木部 雪対策室事業課					
	課長名	井上 実	担当者名	宮本 洋之	電話番号	011-211-2662	
施策名	主	雪と共存した暮らしの推進					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ● 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期 冬期道路の路面管理を効果的かつ効率的に行う。					
		長期 冬期道路の路面管理を効果的かつ効率的に行う。					
	取組内容	平成30年度に策定した「札幌市冬のみちづくりプラン2018」に基づき、札幌市が管理している道路のうち、幅員が2m以上の歩道でバス路線及び住宅連たん地域の歩行者が多い歩道について、通勤通学時までには除雪を行う。					
	実施結果	冬期間、気象状況に合わせて道路(歩道)の除雪を行った。					
事業実施における工夫点	将来にわたり安定した除雪体制を確立するため、平成22年度より道路維持補修業務と除雪業務の一体発注を行っている。(夏冬一体化)						
対象者	市民			開始	0 年度	終了	0 年度
関連法令・条例・要綱等	道路法(第42条・第49条)						
他都市の状況	市民1人当りの除雪費(除雪費÷人口 令和3年度実績) 札幌市16, 056円／人、石狩市29, 065円／人、江別市15, 009円／人						

◎事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度予算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費	788,940	726,885	895,988	0
うち特定財源	192,000	141,594	105,000	0
人工	10.9	9.7	11.2	0.0
人件費	78,480	69,840	80,640	0
計(事業費+人件費)	867,420	796,725	976,628	0
事業費の内訳	令和4年度決算	事務費:1, 527千円、委託料:894, 461千円		
	令和5年度予算	※「車道除雪費」の調書に記載。		

◎検証(振り返り)

活動指標1		指標名	歩道除雪延長					
		令和3年度実績	令和4年度予定	令和4年度実績	令和5年度予定			
		3,046km	3,048km	3,048km	3,048km			
活動指標2		指標名						
		令和3年度実績	令和4年度予定	令和4年度実績	令和5年度予定			
成果指標1		指標名	雪害により24時間以上通行止めとなった幹線道路延長					
		令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績	令和5年度目標			
		0km	0km	0km	0km			
成果指標2		指標名						
		令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績	令和5年度目標			
項目	判定	理由						
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	冬期間における道路の路面管理を効果的かつ効率的に行い、安全な道路環境を確保できたことから、事業の成果・達成度は高い。						
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	道路の機能や幅員に基づいた道路種別ごとに路面管理水準を設定し、効果的かつ効率的に除排雪を行っていることから、平時の事業規模は適切である。 また、大雪に備え、関係機関や関係団体と協力体制を形成していることから、大雪時の事業規模も適切である。						
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	市内を23地区に分割し、その地区ごとに複数の除排雪業者が作業種目(車道除雪・歩道除雪・運搬排雪・パートナーシップ排雪・凍結路面対策等)を連携させ、一括して効率的・効果的・多角的に実施しており、妥当な手法である。						
対象者の満足度 (対象者のニーズに込えているか)	B	市民意識調査(令和4年度)では、「除雪に関する事業について、よくやっていると思うか」との設問に対して、「そう思う・ある程度そう思う」が28.7%と全施策で15番目、「思わない・あまり思わない」が46.7%となっている。 一方で、「除雪に関する事業について力をいれてほしいと思うか」との設問に対して、「そう思う・ある程度そう思う」が82.3%と全施策で1位となっており、全体として、「令和3年度の大雪の影響を受け、満足度が低く、期待度が高い」施策であると位置づけられる。						
市民参加の実施	☒ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外		市民参加結果への対応		☐ 回答 ☒ 反映			
今後の改善点	「冬のみちづくりプラン2018」の内容などを踏まえながら検討する。							
前回の評価	☐ A ☒ B ☐ C ☐ 評価省略対象事業・前年度実施なし							
今年度取り組んだ見直し内容	「大雪時の対応指針」を改訂し、大雪時には全庁的に情報共有を図りながら、迅速かつ適切に対応するとともに、関係機関等との連携を強化。			見直し効果額 (前年度)	0	千円		
今回の評価	☒ A ☐ B ☐ C ☐ 評価省略対象事業・前年度実施なし							
評価の理由	道路の機能や幅員に基づいた道路種別ごとに路面管理水準を設定し、効果的かつ効率的に除雪を行った。							
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 休止・廃止						
		除排雪延長は毎年伸びており、また、公共工事の縮減や景気低迷により従事する企業の経営体力も低下している。このため、現在の路面管理水準を維持するには、事業費や除雪機械確保など様々な対策が必要である。						
	予算	☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ その他			大きな変更はない。			
				見直し効果額	0	千円		